

警察白書

警察白書の内容

警察白書は、日本における警察活動に対して、広く国民の理解を得るために警察庁が毎年刊行している白書である。その時代の社会背景と、犯罪発生の状況や動向などの実態、警察が講じている様々な対策や取り組みを知ることができる。

また、毎年「特集」があり、近年の特集は、「平成17年 / 世界一安全な道路交通を目指して」「平成18年 / 安全・安心なインターネット社会を目指して」「平成19年 / 暴力団の資金獲得活動との対決」「平成20年 / 変革を続ける刑事警察」「平成21年 / 日常生活を脅かす犯罪への取組み」などとなっている。

平成21年の警察白書における特集では、「振り込め詐欺」を中心とした「悪質商法」「食品偽装問題」など、日常生活において気づかぬうちに巻き込まれてしまう可能性のある犯罪についての現状と、それに対する警察の取組みについて記述されている。

このほか、トピックスやコラムも充実しており、現場で活躍する警察職員の手記なども掲載されている。

警察白書の入手方法

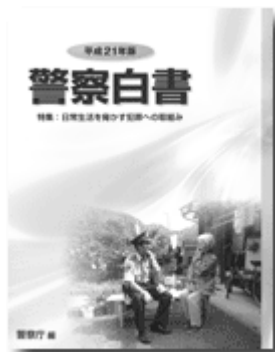
毎年だいたい7～8月頃に刊行されている。

書店で注文する

一般の書店やインターネット書店でも注文することが可能である。

なお、平成21年度版は大型本(26.8×20.8×1.6 cm) 222ページで、定価は1800円である。

(出版社：ぎょうせい)



インターネット上で閲覧する

警察庁のホームページで、過去(昭和48年～)の警察白書のすべてを閲覧することができる。

<http://www.npa.go.jp/hakusyoo/index.htm>

統計資料

警察白書には数多くの統計資料も掲載されているが、毎年の警察白書にまとめられる前に、警察庁のホームページ上で統計資料のみを閲覧することもできる。

○統計(警察庁)

<http://www.npa.go.jp/toukei/index.htm>

毎年半期ごとに犯罪情勢に関する統計が発表されるほか、1年ごとに「刑法犯認知・検挙状況について」の統計資料も発表されている。

◆インターネットで閲覧できる警察の統計資料の例

- ・犯罪情勢
- ・自殺の概要資料
- ・風俗関係事犯等について
- ・生活経済事犯の検挙状況について
- ・人身取引事犯について
- ・少年非行等の概要(平成21年1～12月)
- ・刑法犯認知・検挙状況について
- ・子どもや女性を守るための匿名通報モデル事業の運用状況及び対象犯罪の拡充について
- ・少年の補導及び保護の概況
- ・家出の概要資料

警察白書に関連する白書

○犯罪白書(→p.75)

それぞれの時代における犯罪情勢と犯罪者処遇の実情の報告、及び、刑事政策上問題となっている事柄が紹介されている。

参考URL:

<http://hakusyoo1.moj.go.jp/>

○犯罪被害者白書

毎年、内閣府が国会に提出する年次報告書。犯罪被害者等基本法の規定に基づき、政府が講じた犯罪被害者等のための施策等について知ることが出来る。

参考URL:

<http://www8.cao.go.jp/hanzai/whitepaper/index.html>